

まちかどネットワーク



富士交響吹奏楽団は、市内在住・在勤の人を中心に構成される市民吹奏楽団です。昭和47年に、当時富士見高校音楽コーチで、現在は富士交響吹奏楽団の音楽監督・常任指揮者を務める石川喬雄（たかお）さんをはじめ、吉原工業高校・吉原商業高校・富士見高校のOBが集まり、前身の富士市民吹奏楽団が結成され、今年で50周年を迎えます。



▲音楽監督・常任指揮者の石川さん



▲常任指揮者の杉山さん

現在、団員45人で、音楽監督・常任指揮者を石川喬雄さん、常任指揮者を杉山佳史（よし）さんが務めています。石川さんは、昭和47年に開催された「結成披露演奏会」

結成は昭和47年



50年に渡り響き続けるメロディ 富士交響吹奏楽団

から指揮台に立っているそうです。主な活動は、年2回の定期演奏会です。5月はクラシック作品が中心のコンサート、11月は子どもから大人まで楽しめるポップスコンサートを開催しています。そのほかに、ショッピングモールなどの施設でも演奏会を行っています。過去には全日本吹奏楽コンクールにも参加していました。

100回目の定期演奏会

富士交響吹奏楽団の定期演奏会は、今年11月で通算100回を迎えます。団長でホルンを演奏している平田浩一（こういち）さんは、「コロナ禍で全員での練習ができず、定期演奏会が中止になったこともありましたが、それを乗り越え、11月に第100回定期演奏会を開催します。今回は、通常のポップコンサートではなく、クラシックを中心に演奏する特別な内容になっています。富士響らしさも残しつつ、チャレンジでもあります。初期から活動を支える石川先生が編曲した曲を中心に演奏するほか、今回はプロ

の司会者による演奏曲の解説などを予定しています。

また、今回は100回の節目として、かつて当団で活躍されたOB・OGの方々との合同演奏も企画していて、来た人に喜んでもらえるように構成しました」と話します。

団員は10代から70代までと年齢層が広く、音楽を通じてたくさん交流できる場です。団員を募集中で、高校生は研究生として活動できます。

生の音楽を耳だけではなく、体全体で感じられる、富士交響吹奏楽団の演奏を聴きに、ぜひ会場に足を運んでみませんか。



▲毎週行っている練習風景

富士交響吹奏楽団 〈創立50周年〉

第100回 定期演奏会

とき/11月12日(日)

開場 12時30分

開演 13時30分

ところ/ロゼシアター大ホール



▶入場やチケット情報
など詳しくはこちら